

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋美容専門学校
設置者名	学校法人 愛知産業大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	900 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校・ホームページの情報公開ページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋美容専門学校
設置者名	学校法人 愛知産業大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://asu-g.jp/index.php/yakuin/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2025. 5. 29 ～※	財務
非常勤	クロスプラス株式会社 相談取締役	2025. 5. 29 ～※	コンプライアンス
(備考) ※ 令和8年度の決算報告を行う令和9年度の定時評議員会（令和9年5月～6月頃）の終結の時まで			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋美容専門学校
設置者名	学校法人 愛知産業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 「シラバス作成ガイド」に基づき、授業の方法・授業の内容・年間の授業計画・達成目標・評価方法等の欄を設けたシラバスを作成しています。 このシラバスは前年度3月までに作成し、新年度の授業開始までに公表できるように努めています。 このシラバスは、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub また、シラバス中の教員等の実務経験に関しては、シラバス中に記載すると同時に、実務経験のある教員等による授業科目の一覧表を本校・ホームページの情報公開ページにて公表しています。	
授業計画書の公表方法	本校・ホームページの情報公開ページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバス記載項目に授業の方法・授業の内容・年間の授業計画・達成目標・評価方法等の欄を設けています。 このシラバスは、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub また、「試験及び成績評価に関する細則」に成績に関する取扱いを規定しています。 この細則は、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 「GPA に関する細則」により履修した全科目の成績の平均値を数値で表し、学期ごとに成績表等により学生に通知しています。 GPA の計算方法は履修した各科目の成績（グレード：秀＝4、優＝3、良＝2、可＝1、不＝0、）にその科目の単位数を乗じた数値の総和を総履修単位数で除し計算します。 また、「GPA に関する細則」に基づき、成績の分布状況を示す資料を作成し、下位1／4の範囲を把握します。さらに、本学・美容学科の教育課程と密接に関連し、美容師国家資格が学修の成果を評価するにふさわしく、かつ職業に密接に関連する美容師国家資格を十分に取得できる水準に満たない GPA が下位10％の範囲も把握します。(添付資料) その細則は、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本校・ホームページの情報公開ページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）」は次のとおりです。 美容業界の第一線で活躍できる人材となる知識・技術・センス・人柄を身につけている人。 このポリシーは、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub 「卒業・進級・留年に関する規程」に卒業要件（在学2年以上、67単位以上の修得、必修科目と所定の選択必修科目の履修及び単位修得、学納金の完納）を明記、卒業審査会の議を経て学校長が卒業を認定します。 この規程は、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本校・ホームページの情報公開ページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋美容専門学校
設置者名	学校法人 愛知産業大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://asu-g.jp/index.php/zaimu/
収支計算書又は損益計算書	https://asu-g.jp/index.php/zaimu/
財産目録	https://asu-g.jp/index.php/zaimu/
事業報告書	https://asu-g.jp/index.php/jigyo/
監事による監査報告（書）	https://asu-g.jp/index.php/zaimu/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2,010 単位時間	1,110 単位時間	0 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		307 人	0 人	15 人	7 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）「シラバス作成ガイド」に基づき、シラバス記載項目に授業の方法・授業の内容・年間の授業計画・達成目標・評価方法等の欄を設けたシラバスを作成しています。

このシラバスは、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。

<https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub>

また、実務経験のある教員等かどのような教育を行うのかに関しては、シラバス中に記載しています。また、実務経験のある教員等による授業科目の一覧表をホームページ上に公表しています。

成績評価の基準・方法

（概要）「試験及び成績評価に関する細則」に試験に関する取扱いを規定しています。この細則は、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。

<https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub>

「GPAに関する細則」により履修した全科目の成績の平均値を数値で表し、学期ごとに成績表等により学生に通知しています。

GPAの計算方法は履修した各科目の成績（グレード：秀＝4、優＝3、良＝2、可＝1、不＝0、）にその科目の単位数を乗じた数値の総和を総履修単位数で除し計算します。

また、「GPAに関する細則」に基づき、成績の分布状況を示す資料を作成し、

下位 1 / 4 の範囲を把握します。（添付資料） その細則は、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub
卒業・進級の認定基準 （概要）「卒業・進級・留年に関する規程」に卒業要件（在学 2 年以上、6 7 単位以上の修得、必修科目と所定の選択必修科目の履修及び単位修得、学納金の完納）を明記、卒業審査会の議を経て学校長が卒業を認定します。 また進級要件（在学 1 年以上、学則に規定する教育課程の第 1 学年の必修科目と所定の選択必修科目の履修及び単位修得、学納金の完納）を明記、進級審査会の議を経て学校長が進級を認定します。 この規程は、本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub
学修支援等 （概要）クラス担任制により、クラス単位の行事目標の達成をサポートし、学生個々の微妙な変化を把握し、個別相談・指導などの対応を行っています。 実技試験・筆記試験を軸に美容師国家試験対策のほか、美容業界で役立つ資格取得を通じて、時代に合った幅広い技術・知識を身に付けるカリキュラムを配しています。 サロンとの連携授業、インターンシップなど職業観を養成するカリキュラムを配しています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
148 人 (100%)	0 人 (%)	139 人 (93.9%)	9 人 (6.1%)
(主な就職、業界等) サロン、美容業界			
(就職指導内容) ●自己理解・職業理解をすすめる就職に対する意識を高め、企業で必要とされる社会人・美容師としての心構えを醸成するキャリアデザイン科目を配置。 ●サービス業において必要なお客様に関する応対やおもてなしを理解するためのコミュニケーション科目を配置。 ●人気美容室との産学連携により、美容技術を含めた最前線のヘアスタイル、ヘアアレンジやカラー技術などを現役美容師から学ぶ授業を配置し、美容人として即戦力で活躍できる人材を育成します。 ●新カリキュラム「サロンワーク」の授業で県内外の有力サロンから講師を迎え、学生との関係づくりの機会を創出し、就職の可能性向上を目指します。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ●美容師（国家資格） ●ヘアケアマイスター（日本ヘアケアマイスター協会） ●ヘアカラーリスト（日本ヘアカラー教会） ●色彩活用パーソナルカラー検定（日本カラーコーディネータ協会） ●コミュニケーション検定（サーティファイ） ●着付検定試験（全日本美容業生活衛生同業組合連合会） ●A級ネイル検定（インターナショナルネイルアソシエーション） ●ジェルネイル検定（インターナショナルネイルアソシエーション） ●アシスタントウェディングプランナー検定（日本ウェディングプランナーネットワーク協会） ●サービス接遇検定（実務技能検定協会）			

(備考) (任意記載事項) 学生1人に対する求人数は多いが、人気サロンへの応募が集中し、第一希望のサロンへの就職が叶わない場合が見られます。 また、独立開業・多店舗展開等でサロン数は増加傾向の中、サロンの採用活動ではSNS等を利用した情報発信が増え、学生の就職内定のキーワードは情報収集力になっています。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
310 人	15 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、メンタル不調		
(中退防止・中退者支援のための取組) 経済的理由、進路変更、メンタル不調 (中退防止・中退者支援のための取組) 入学時から卒業時まで、退学原因や学生の傾向を分析し、対処方法を教員間で情報共有するために「退学防止マニュアル」を作成しています。 「退学防止マニュアル」は多様化する入学生に対応するため、年度ごとに更新しています。 また、学生・保護者と密にコミュニケーションを取るため、教員のメールアドレスを学生に公開、半期に一度の学級新聞、メールでの月便りを通じて、学生の動向を保護者に伝えています。 日々は欠課状況に応じて、学生面談を実施し、特に長期休暇前後や進級前後は、丁寧に学生面談を実施しています。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容学科	100,000 円	450,000 円	410,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<独自奨学金> ●指定校奨学金・5万円 ●AO特待奨学金・5万円 ●ワインディング技術力奨学金・5万円 ●セルフブランディング奨学金・5万円 ●経済支援奨学金・20万円 ●学修奨励奨学金(成績)・5万円 ●学修奨励奨学金B(東海地区理美容学生技術大会・全国出場者)カット部門16万円、アップ部門7万円、ワインディング部門6万円、ネイル部門3万円、まつエク部門2万円 ●学修奨励奨学金C(SPC全日本理美容選手権・東海大会3位までの入賞者)ワインディング部門3万円、カット部門3万円 ●姉妹校奨学金1(姉妹高校からの進学)・10万円 ●姉妹校奨学金2(現在、学園に兄弟姉妹が在籍)・10万円 ●姉妹校奨学金3(過去に親族が学園を卒業・5万円)等を設けています。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
学校が策定した計画、改善方策の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取組方針などについて、学校関係者自らが学校見学や教職員・学生やステークホルダーとなる関係業界・卒業生と対話を行い、教育活動・学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言等をいただいています。 学校関係者委員は業界関係者(1名以上)、卒業生(1名以上)、教育に関する知見を有する者(1名以上)、在学生の保護者(1名以上)、その他学校長が必要と認めた者(1名以上)で構成されます。 学校長は、自己評価の結果を本校教職員で組織する運営委員会に報告し、適宜、教育活動・学校運営等に反映させていきます。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 APRE	2025.4.1～2027.3.31	関連業界
株式会社 トップヘアー	2025.4.1～2027.3.31	関連業界
株式会社 美容文化社	2025.4.1～2027.3.31	関連業界

株式会社 JS コーポレーション	2025. 4. 1～2027. 3. 31	教育の知見者
株式会社 リジェール	2025. 4. 1～2027. 3. 31	卒業生
在学生保護者	2025. 4. 1～2027. 3. 31	在学生保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校・ホームページの情報公開のページにて公表しています。 https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校・ホームページ https://www.nagoyabiyo.ac.jp/

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H123310000446
学校名 (〇〇大学 等)	名古屋美容専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人愛知産業大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		32人（ 0 ）人	32人（ － ）人	64人（ － ）人
内 訳	第Ⅰ区分	23人	18人	
	（うち多子世帯）	（ － 人）	（ － 人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ － 人）	（ － 人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ － 人）	（ － 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				64人（ － ）人
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	—
訓告	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。